

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・熊本市へ毎年「廃棄物減量・リサイクル計画書」を提出し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。 ・学園内に存在する有害化学物質をすべて把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・経済産業省資源エネルギー庁へ毎年「エネルギー消費統計調査」を提出し、学園のエネルギー使用量を把握して、その削減に取り組んでいる。 ・消費電力についてはデマンド監視システムを導入し計画的な削減に取り組むとともに、エレフイズシステムを導入し、計画の実効性を高めている。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「私立学校におけるCO2排出量調査」を毎年実施し、排出の抑制に取り組んでいる。		2.4							7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・武蔵ヶ丘キャンパスに雑木林を保有し、生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。 ・中高一貫教育の中に「環境」教育を授業の中に取り入れ、継続して「環境」教育に取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・平成29年4月より学園全体で「5R推進運動(Reduce.Reuse.Recycle.Repair.Restore)」に取り組んでいる。 ・学園内で使用する紙は100%再生紙とし、併せて裏紙の利用を促進している。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・熊本県、熊本市等へ毎年「地下水採取量報告書」を提出する他、熊本県へ「地下水使用合理化計画実施状況報告書」「地下水涵養計画実施状況報告書」を提出し、節水トイレの設置、トイレ擬音装置の設置等を含めた水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・学園内で使用する紙は100%再生紙とし、併せて裏紙の利用を促進している。 ・令和3年1月に竣工した九品寺キャンパス大学7号館はCASBEE熊本でBEE=1.2、ライフサイクルCO2排出性能80%の評価を得ている。												9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●			・尚綱中学・高校(一貫)では平成24(2012)年から、阿蘇市西小園地区において、植林・下草刈り活動に取り組んでいる。毎年200本程度を植樹しており、約2,000本の植林となっている。					6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●														9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●												7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

